

マーク・ダニエル・マローニー
Mark Daniel Maloney

2019-2020年度RI会長候補 面接の質問への回答

1. RI 会長という役職について、あなたはどのように認識していますか。また、あなたはなぜ会長になりたいのですか。

RI会長は、ロータリー世界に対し、ロータリーの発展という責任を負います。対処しなければならない問題を特定するための幅広い経験、解決策を生み出すための組織的スキル、そして行動計画を実施するためのリーダーシップを備えていなくてはなりません。

私がこういったスキルを備えていることはこれまでの実績が証明していると思います。クラブ会長として会員増強の旗を振り、30名の新会員を入会へと導きました。地区ガバナーとしては、3つのクラブの設立、地区の会員数約8%増、財団への寄付63%増という実績をあげました。RI理事としては、米国クラブの保険問題に解決策を提案しました。ほか2名の管理委員とともに、未来の夢計画を策定に関与しました。ロータリー財団資金管理委員会の設立にも尽力しました。新しい「WASH in Schools」（学校における水と衛生）試験的プロジェクトを提案しました。また、運営審査委員長として、ロータリーが直面する重大な問題に引き続き対応しています。

2. 国際ロータリーの構成や統括機構にどのような変化をもたらしたいと思いますか。またその理由は何ですか。

適切なスキルと独自の発想を持った人物がロータリーには必要です。ロータリーに卓越した組織統治をもたらすには、委員たる資格をもつロータリアンを見つけ出すための近年の取り組みを今後も継続し、さらに発展させていかななくてはなりません。委員会にふさわしい経歴と経験を提示した上で指名されるべきです。シニアリーダーが公平な目でこういった資格を審査し、上位の会長候補者を選びます。

さらに、会長やその他のリーダーからの報復を恐れることなく、ロータリーの最善を考えて自主的に行動を起こす自由が理事にはあるべきであり、またそういった自由があることを自覚するべきです。運営審査委員会の委員長として、私は理事会での開かれた議論を制度化し、会長による不適切な影響力を防ぐための慣習や方針を理事会に提案しました。会長に指名された場合、理事の独立を促進することを誓います。

3. RI 会長、RI 会長エレクト、RI 会長ノミニー、事務局間の継続性をどのように保ちますか。

RI会長の指名を受けた場合、始めから、歴代前任者の行動や決定に従います。RI会長、RI会長エレクト、RI会長ノミニー、および管理委員長の間で継続性と共通の目的が確実に保たれるように、これらの役員と事務総長とともに、少なくとも四半期に一度は会合を開きます。役員は、それぞれが優先する重点が戦略計画に沿っており、できる限りシームレスに移行が行われるようにしなければなりません。

あらゆる職員に専門家として敬意をもって接することで、役員と事務局の間に継続性と良好な関係を保ちます。ボランティアと職員に同じチームの一員だと感じてもらえるよう、全力を尽くします。新しいイニシアチブについて職員の意見を求め、実施計画の策定において職員の提案を取り入れていきます。

4. ロータリーの会員数は、世界のある地域では増加し、その他の地域では減少しています。会員数が減少している地域にどのように対応しますか。

女性会員の数を増やすために手段を講じる必要があります。また、2016年規定審議会における会員資格の変更を実施し、ローターアクトを含め若い世代に重点を置かなくてはなりません。あまりに数多くの素晴らしいローターアクターが、ロータリーには入会せずに終わっています。

こういった会員候補者を勧誘するのを奉仕の目的とするロータリアンの永久的な組織を作るべきだと私は考えます。正式な委員会の構成や行動計画を備えたこの組織が、各クラブに働きかけます。責務と説明責任は地区やゾーンのリーダー全体に広がらなくてはなりません。計画が絵に描いた餅ではなく、かならず現実のものになるように、獲得した会員数だけでなく、そのプロセスの実施も、会長賞やその他の表彰に組み込まれなくてはなりません。関連分野のロータリーのリーダーと協議を重ね、職員と協力して、そのような構成を確立するための事前計画をみずから推し進めていく所存です。

5. 地域社会をよりよく反映する新しい会員を迎え入れることができるよう、年配の会員から成るクラブまたは多様性に欠けるクラブに対し、どのような提案をしますか。

そういったクラブは、会員勧誘のためにふたたび職業分類に目を向けるよう推奨します。職業分類により、ロータリーの大きな強みである会員の多様性が保たれてきました。職業分類が地域社会を真に反映したものとなるようにし、上記4番で前述したクラブ委員会制度の中核とするべきです。委員会のメンバーには新会員とベテラン会員とが加わります。委員会は職業分類を使って会員候補となるあらゆる年齢層と経歴のビジネスリーダーを見つけ出します。これはある年度におけるキャンペーンではなく、常に継続して行われなくてはなりません。

女性や若い世代に重点を置きつつも、退職したばかりの人びとや、経験豊かな人びとを会員候補者として探し求めることも忘れてはなりません。多くの国々で長寿化、高齢化が進む今、この重要な会員層を見逃すわけにはいきません。